



2020年5月19日

各 位

会 社 名 ヤマシンフィルタ株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 山崎 敦彦
(コード番号：6240 東証第一部)
問 合 せ 先 取締役管理本部長 井岡 周久
(TEL. 045-680-1671)

業績予想と実績との差異に関するお知らせ

当社は、2020年2月5日に公表いたしました2020年3月期通期（2019年4月1日～2020年3月31日）の業績予想と実績に関し、下記の通り差異が生じたので、お知らせいたします。

1. 2020年3月期 通期連結業績予想と実績との差異

(2019年4月1日～2020年3月31日)

(単位：百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
前回発表予想 (A)	12,700	880	685	460	6.65 円
実 績 (B)	12,674	777	603	608	8.79 円
増 減 額 (B-A)	△25	△102	△81	148	—
増 減 率 (%)	△0.2	△11.6	△11.9	32.2	—
(参考) 前期実績 (2019年3月期)	13,811	1,963	1,915	1,413	20.44 円

(注) 前提為替レート 米ドル 108 円 (前回見直し公表時 108 円)

2. 差異の理由

売上高については、前回（2020年2月5日）公表した通期の連結業績見直し並みに推移しましたが、コロナウイルス感染拡大に伴い、当社のサプライチェーンに影響が生じ、航空運賃等の費用が増加したことから、営業利益及び経常利益は前回公表値を下回りました。

一方で、2019年8月23日付で完全子会社化した株式会社アクシーの税効果会計の検討にあたり、今後の収益予想に合わせた会社分類の変更を行い、繰延税金資産の回収可能性を検討した結果、繰延税金資産が増加したことにより、親会社株主に帰属する当期純利益については、前回公表値を上回りました。

以上

(参考) 事業セグメント別の通期業績予想と実績との差異

(建機用フィルタ事業)

(2019年4月1日～2020年3月31日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益
前回発表予想(A)	11,300	750	550	370
実績(B)	11,296	654	465	281
増減額(B-A)	△3	△95	△84	△88
増減率(%)	△0.0%	△12.7%	△15.3%	△23.9%
前期通期実績 (2019年3月期)	13,811	1,963	1,915	1,413

差異の理由

売上高については、前回(2020年2月5日)公表した通期の業績見通し並みに推移しましたが、今般のコロナウイルス感染拡大に伴い、当社のサプライチェーンに影響が生じ、航空運賃等の費用が増加したことにより、営業利益及び経常利益並びに親会社株主に帰属する当期純利益は前回公表値を下回りました。

(エアフィルタ事業)

(2019年10月1日～2020年3月31日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益
前回発表予想(A)	1,400	130	135	90
実績(B)	1,377	122	137	326
増減額(B-A)	△22	△7	2	236
増減率(%)	△1.6%	△5.4%	2.0%	263.0%
前期通期実績 (2019年3月期)	—	—	—	—

差異の理由

売上高及び損益については、前回(2020年2月5日)公表した通期の業績見通し並みに推移しました。一方で、2019年8月23日付で完全子会社化した株式会社アクシーの税効果会計において、今後の収益予想に合わせた会社分類の変更を行い、繰延税金資産の回収可能性を慎重に検討した結果、繰延税金資産が増加したことにより、親会社株主に帰属する当期純利益については、前回公表値を上回りました。

以上